# 創立30周年記念合唱コンクール

京都新聞　2010年（平成22年）10月7日　木曜日

## 創立30年 合唱で心一つに

### 東城陽中 恒例のコンクール

城陽市久世の東城陽中の創立30周年を記念した合唱コンクールが6日、文化パルク城陽であった。全校生徒約350人や保護者たちも力強い歌声で節目を祝った。

東城陽中は1981年春に4番目の市立中学として開校した。合唱コンクールは恒例の行事で、9月初めの体育大会後、学級ごとに課題曲と自由曲の練習に打ち込んできた。

「Believe」や「夢の翼ひろげて」などメッセージ性の強い歌が、生徒の指揮と伴奏で披露された。約50人のPTAも出演した。最後に3年学級委員長の高橋弦君が「歴史に残る歌声を届けたい」とあいさつし、約110人の学年全体で、3年生が歌い継いできた「大地讃頌（さんしょう）」を心を一つに合唱した。（松浦吉剛）

伝統の歌「大地讃頌」を学年全体で歌い上げる3年生
（城陽市寺田・文化パルク城陽）

洛南タイムス　2010年（平成22年）10月7日（木曜日）　第17171号　（第三種郵便物認可）　（2）

3年生の学年合唱

東城陽中

## 3年3組が栄えのグランプリ

### 創立30周年記念合唱コンクール 歴史に残る最高の歌を唄います

人口急増期の昭和56年4月に開校した城陽市立東城陽中学校（高野徹校長・生徒346人）は6日、創立30周年記念の「合唱コンクール」を文化パルク城陽プラムホールを会場に開いた。クラスや学年単位に、練習の成果を発揮しあったが、3年3組が栄えあるグランプリを獲得した。

コンクールは、学級一し望ましい集団としての力を高めることなどを目的に毎年の開催。中で、互いに切磋琢磨

全生徒から募集、掲げられた今年のスローガンは「30年の歴史の譜線に我らの音色を刻みこもう！」。

各クラス単位に、1年生は「夢の世界を」、2年生は「想い出は空に」、3年生は「大地讃頌」とそれぞれ課題曲と各クラスで選んだクラス曲の2曲を披露した。いずれも、9月中旬から練習に励んできた成果を発揮、団結力を競った。

コンクールを締めくくったのは3年生の学年合唱「大地讃頌」。「歴史に残る最高の歌を唄います。これから学校をになっていく1年生、2年生へのメッセージだと思って聞いて下さい」と宣言、静

えた有志による「仲間とともに歌おう」のコーナーでは、「きみに会えて」の混声三部合唱が響いた。午後1番の出演は、熱心なPTA活動を反映したPTAコーラスで、「乾杯」などを聞かせた。

金賞には3年生の3クラスが、銀賞には2年生の全3クラスと1年1組が選ばれた。

かに歌い始めた。

全ての合唱が終わった後、高野校長や音楽教師ら6人によるクラス審査が行われ、クラス曲で「走る川」を歌った3年生3組に最高のグランプリ（金賞の中から選出）が贈られた。講評では、グランプリ曲に対し「課題曲、クラス曲とも合唱曲として最も完成度が高かった。ソプラノ、アルト、テノール、バスの4パートがきちんと役割を果たせた」と称えられ、表彰状とトロフィが贈られた。なお、

城南新報　【第三種郵便物認可】　2010年10月7日（木曜日）

## 創立30周年に弾む歌声

### 東城陽中 文化パルで合唱コン

今週1週間は文化パルク城陽プラムホールで市内5中学校による合唱コンクールが開かれている。6日は東城陽中学校（高野徹校長、3

46人の創立30周年記念合唱コンクールが催され、3年生113人全員による学年合唱「大地讃頌」をはじめ、ハイレベルな歌声が館内に響き渡った。

生徒たちは2学期当初から、あらかじめ学年ごとに決められた課題曲に加え、クラスごとに自由曲を選び出し、練習を開始。この日の舞台に向けてハーモニーに磨きをかけてきた。

開会式では高野校長、小林和華子生徒会長（3年）の挨拶などに続き、クラス発表が繰り広げられ、昼休みを挟んで生徒有志による混声3部合唱「仲間とともに歌おう きみに会えて」、PTAコーラスによる「Amazing Grace」「乾杯」の披露もあった。ラストは3年生の課題曲「大地讃頌」を学年全員で歌い上げ、ホール内に詰め掛けた保護者、生徒らに感動を呼んだ。

審査の結果、金賞には3年1～3組が輝き、その中から最も優秀なグランプリは3年3組が獲得、銀賞は2年1～3組と1年1組が選ばれた。

3年生による学年合唱「大地讃頌」

# 30年という歴史の譜線に
# 美しい音色が刻まれました！